

Pro-face®

Windows XP Embedded
リファレンスマニュアル

CFカード容量 : 1GB
ファイルシステム : NTFS

対応言語 : 日本語／英語版
マルチランゲージ版

はじめに

このたびは、(株)デジタル製の Windows XP Embedded (以下、XPE と称します) をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用にあたっては、本書をよくお読みいただき、XPE の正しい取り扱い方法と機能をご理解いただきますようお願いいたします。

対象機種

シリーズ名	本体型式	本体 リビジョン	対応 CF カード型式	ボリュームラベル
PS-3450A PS-3451A	PS3450A-T41 PS345*A-T41-24V	Rev. なし～	PS345XA-XPE1G-JE-BLD PS345XA-XPE1G-ML-BLD	345XAXPEJE1 ～ 345XAXPEM1 ～
PS-3000B PS-3001B	PS3000-BA PS3001-BD	Rev. なし～	PS345XA-XPE1G-JE-BLD PS345XA-XPE1G-ML-BLD	345XAXPEJE2 ～ 345XAXPEM2 ～
PS-3650A PS-3651A	PS365*A-T41 PS365*A-T41-24V	Rev. なし～	PS365XA-XPE1G-J1-BLD PS365XA-XPE1G-M1-BLD	365XAXPEJ3 ～ 365XAXPEM3 ～
PS-3710A	PS3710A-T41 PS3710A-T41-24V	Rev. なし～	PS3710A-XPE1G-JE-BLD PS3710A-XPE1G-ML-BLD	3710AXPEJE1 ～ 3710AXPEM1 ～
PS-3711A	PS3711A-T41 PS3711A-T41-24V	Rev. なし～	PS3711A-XPE1G-JE-BLD PS3711A-XPE1G-ML-BLD	3711AXPEJE1 ～ 3711AXPEM1 ～
PL-6930T PL-6931T PL-7930T PL-7931T	PL*93*-T41 PL*93*-T42-CM PL*93*-T42-PM	Rev. なし～	PLX930-XPE1G-J1-BLD PLX930-XPE1G-M1-BLD	PLX930XPEJ4 ～ PLX930XPEM4 ～

ボリュームラベルの末尾の数字はバージョンになっており、ソフトリビジョンと対応しています。
最新版のマニュアルや Driver、Utility は (株) デジタルのホームページからダウンロードできます。
またよくあるご質問や役立つ情報も Q&A 集として (株) デジタルのホームページに用意しています。
ご使用用途にあわせて参照してください。 <http://www.proface.co.jp/otasuke/>

お断り

1. 本製品および本書の内容の、一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
2. 本製品および本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
3. 本製品および本書の内容に関しては、万全を期して作成いたしました。が、万一誤りや記載もれなど、ご不審な点がありましたらご連絡ください。
4. 本製品を使用したことによるお客様の損害その他の不利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

© Copyright 2007 Digital Electronics Corporation. All rights reserved.

Windows は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国での登録商標または商標です。
その他の会社名、製品名は、各社の商標、登録商標です。

商標などについて

本書に記載の会社名、商品名は、各社の商号、商標（登録商標を含む）またはサービスマークです。本製品の表示・記述の中では、これら権利に関する個別の表示は省略しております。

商標	権利者
Microsoft, Windows	米国マイクロソフト社
Pro-face	(株) デジタル
Adobe	アドビシステムズ社

なお、上記商号・商標類で、本書での表記が正式な表記と異なるものは以下のとおりです。

本書での表記	正式な表記
Windows XP	Microsoft [®] Windows [®] XP operating system
Adobe Reader	Adobe [®] Reader [®]

マニュアルの読み方

本書は XPE の機能や設定方法について特記しています。

ハードウェアに関する使用上の注意や設置方法などは、同梱の取扱説明書または本体のハードウェアマニュアルを参照ください。

またソフトウェアに関するシステムのセットアップなどは、本体のリファレンスマニュアルを参照してください。

マニュアル表記上の注意

本書で使用している用語や記号等の意味は以下のとおりです。

 重要	この表示の説明に従わない場合、機器の異常動作やデータの消失などの不都合が起こる可能性があります。
 MEMO	ご使用に際して、ポイントとなる項目です。
※	脚注で説明している語句についています。
(1) (2)	操作手順です。番号に従って操作を行ってください。
XPE	Windows XP Embedded の略称です。
	関連事項の参照ページを示します。

梱包内容

梱包箱には、XPE 専用の梱包物として以下のものが入っています。ご使用前に必ず確認してください。

End User License Agreement 1 枚



MEMO

- 品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。
- 最新版のマニュアルや Driver、Utility は (株) デジタルのホームページからダウンロードできます。

<http://www.proface.co.jp/otasuke/>

目次

はじめに.....	1
対象機種.....	1
商標などについて.....	2
マニュアルの読み方.....	3
マニュアル表記上の注意.....	3
梱包内容.....	4
目次.....	5

第1章 Windows XP Embedded について

1 特長.....	1-2
2 主要アプリケーション一覧.....	1-4
3 XPE でのコントロールパネル機能一覧.....	1-5
4 ライトフィルタ（書き込み禁止）の設定を変更したい.....	1-6
4.1 ライトフィルタの設定手順.....	1-7
4.2 ライトフィルタによる CF カードへのアクセス動作について.....	1-8
5 同じ設定環境を複数のパネルコンピュータにコピーしたい（CF カードをコピーしたい）.....	1-10
5.1 CF カードのコピー手順.....	1-10
6 ライトフィルタによって発生するメモリリークを解消したい.....	1-12
6.1 RAM Disk の設定手順.....	1-12
7 画面にキーボードを表示させたい.....	1-15
7.1 入力フォントサイズの変更手順.....	1-15
8 画面にタッチして操作したい.....	1-17
9 画面の輝度を調整したい.....	1-18
10 本体の電源を切るときの注意事項.....	1-19
11 CF カードのバックアップ / リカバリについて.....	1-20
12 制限事項.....	1-21

第2章 トラブルシューティング

1 トラブルの内容と対処方法.....	2-2
---------------------	-----

付録

1 「IN-fINITY soft 製 KeyClick32」規約.....	A-2
2 Mouse Emulation Software ソフトウェア使用権許諾契約書.....	A-3

1 Windows XP Embedded について

1	特長.....	1-2
2	主要アプリケーション一覧.....	1-4
3	XPE でのコントロールパネル機能一覧.....	1-5
4	ライトフィルタ（書き込み禁止）の設定を変更したい.....	1-6
5	同じ設定環境を複数のパネルコンピュータにコピーしたい（CF カードをコピーしたい）	1-10
6	ライトフィルタによって発生するメモリリークを解消したい.....	1-12
7	画面にキーボードを表示させたい.....	1-15
8	画面にタッチして操作したい.....	1-17
9	画面の輝度を調整したい.....	1-18
10	本体の電源を切るときの注意事項.....	1-19
11	CF カードのバックアップ / リカバリについて.....	1-20
12	制限事項.....	1-21

1 特長

XPE は、Windows XP をコンポーネント化した OS であり、ライトフィルタなどの組み込みデバイスに特化した機能を持つ OS です。

重要

- CF カードをプライマリマスタ接続 (Disk0) にしてください。
- 必要なアプリケーション等のインストールが完了したら、まずバックアップを作成してください。バックアップデータがなければリカバリが行えません。

 [11 CF カードのバックアップ / リカバリについて] (1-20 ページ)

MEMO

- 最新版のマニュアルや Driver、Utility は (株) デジタルのホームページからダウンロードできます。

<http://www.proface.co.jp/otasuke/>

(株) デジタル製の XPE には以下の特長があります。

■ ライトフィルタ機能 (CF カードへの書き込みを禁止する機能)

CF カードへの書き込みを禁止する機能です。CF カードへの書き込み回数削減のため、通常はライトフィルタを有効にしてください。また、ライトフィルタ機能を有効にしておく、シャットダウン操作を実施せずに、本体電源を切ることが可能となります。

 [4 ライトフィルタ (書き込み禁止) の設定を変更したい] (1-6 ページ)

■ マルチランゲージ対応

日英版は日本語 (出荷時設定)、英語の 2 言語に対応しています。

マルチランゲージ版は、英語 (出荷時設定)、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、中国語、台湾語の 8 言語に対応しています。

■ ハードディスクを組み合わせる使用

CF カードに別売のハードディスクを組み合わせることでデータエリアを広げ、大きいサイズのアプリケーションを使用することができます。

MEMO

- PS-3450A/PS-3451A シリーズ、PS-3650A/PS-3651A シリーズおよび PS-3710A/PS-3711A シリーズでは対応していません。
- 組み合わせたハードディスクにはライトフィルタ機能はありません。

■ バックライトスクリーンセーバー機能

バックライトを OFF/ON するスクリーンセーバー機能でバックライトの寿命を延ばします。

■ System Monitor 搭載

システムの異常監視を可能にします。

詳細については本体のリファレンスマニュアルを参照してください。

■ タッチパネルドライバ (UPDD) 対応

タッチ操作でマウスのような入力操作ができます。

 [8 画面にタッチして操作したい](1-17 ページ)

■ KeyClick 搭載

画面上にキーボードを表示し、タッチパネルからのキー入力を可能にします。

 [7 画面にキーボードを表示させたい](1-15 ページ)

■ RAM Disk

ライトフィルタによって発生するメモリーークを解消したい場合は、RAM Disk を使用します。

RAM Disk は直接メモリ領域に書き込みを行うため、ライトフィルタ設定の有無に関わらず指定したサイズを揮発性ディスク領域として何度でも使用できます。

 [6 ライトフィルタによって発生するメモリーークを解消したい](1-12 ページ)

重要

- アプリケーションをインストールする場合は、以下 CF カードの空き領域にご注意ください。

< 出荷時 >

日英版・日本語版 約 650MB

マルチランゲージ版 約 530MB

2 主要アプリケーション一覧

出荷時に組み込まれている主なアプリケーションは以下の一覧のとおりです。

アプリケーション名	内容
Internet Explorer 6	Microsoft 社の Web ブラウザです。
日本語 IME ^{※1}	日本語入力用かな漢字変換ソフトウェアです。
コントロールパネル	コンピュータをカスタマイズすることができます。コントロールパネルからは、新しいハードウェアの追加、プログラムの追加と削除、画面表示の変更などを始めとして、さまざまな操作を開始できます。System Monitor 設定画面もここから表示できます。
アクセサリ	Microsoft 社のメモ帳、ペイント、スクリーンキーボード、コマンドプロンプト、ハイパーターミナルを実装しています。
Backlight Brightness	画面の輝度を調整します。
KeyClick	画面上にキーボードを表示し、キー入力を行います。日本語と英語のみ対応しています。
UPDD	タッチパネル操作を行います。
EWf Setting Tool ^{※2}	ライトフィルタの設定を行います。
System Monitor	システムの異常監視を行います。

※1 マルチランゲージ版にこの機能はありません。

※2 設定変更を行うには Administrator 権限が必要です。

MEMO

- よくあるご質問や役立つ情報も Q&A 集として (株) デジタルのホームページに用意しています。
ご使用用途にあわせて参照してください。
<http://www.proface.co.jp/otasuke/>

3 XPE でのコントロールパネル機能一覧

XPE でのコントロールパネルの機能および設定状況は以下のようになっています。

アイコン名	内容	補足（有効範囲等）
Backlight Brightness	バックライトの輝度調整を行います。 ☞ [9 画面の輝度を調整したい](1-18 ページ)	4 段階の設定を行えます。 出荷時設定は最大の明るさになっています。
インターネットオプション	インターネットの表示画面や接続情報を構成します。	出荷時設定は、キャッシュサイズが 1MB、履歴保存日が 0 日、キャッシュ格納フォルダが Z:\\$ (RAM Disk) になっています。
フォルダオプション	ファイルやフォルダの表示のカスタマイズ、ファイルの関連付けの変更、ネットワークファイルのオフライン利用を設定します。	出荷時設定は、ネットワークファイルのオフライン利用は無効になっています。
プリンタと FAX	インストールしているプリンタを表示します。また新しいプリンタのインストール設定を行います。	FAX は対応していません。
プログラムの追加と削除	プログラムや Windows コンポーネントをインストールおよび削除します。	Windows コンポーネントの追加と削除、および、Windows Update は使用できません。
インターネットインフォメーションサービス	インターネットおよびイントラネットの Web サイトのための Web サーバーであるインターネット インフォメーションサービスを管理します。	出荷時設定は、インターネットインフォメーション サービスが無効になっています。

重要

- 各設定を行う前に、ライトフィルタを無効にしてから実施してください。ライトフィルタが有効の場合、変更した内容が反映されません。
設定の変更後、ライトフィルタを有効に戻すことをおすすめします。

☞ [4.1 ライトフィルタの設定手順](1-7 ページ)

4 ライトフィルタ（書き込み禁止）の設定を変更したい

XPE は、ライトフィルタ (CF カードへの書き込みをなくす機能) を実装しています。

ライトフィルタを有効にすることにより、CF カードへの書き込みを防止することができます。

書き込み防止により、CF カードの破損や寿命の低下を防ぐことができます。

重要

- ライトフィルタで保護されていないデバイス (CF カード以外) へ書き込みを行っている場合に電源を切るとデータ破損の原因になります。

 [10 本体の電源を切るときの注意事項](1-19 ページ)

- 各種設定、ドライバの追加、レジストリ変更を行う場合は、必ずライトフィルタを無効にしてください。ライトフィルタが有効の場合、OS などへの設定情報は OS 再起動時にすべて破棄されてしまいます。設定を変更する際は必ずライトフィルタを無効にしてください。

設定の変更後、ライトフィルタを有効に戻すことをおすすめします。

- PCMCIA で使用しているデータ書き込み用の CF カードには適用されません。

4.1 ライトフィルタの設定手順

ライトフィルタの設定は「EWFSettingTool」ツールを使用して変更します。このツールには以下の機能があります。出荷時はライトフィルタが有効になっています。

- ライトフィルタ有効 (Protect ON)
- ライトフィルタ無効 (Protect OFF)
- セキュリティ ID の変更 (Change Security ID)

重要

- ライトフィルタの設定変更を行うには Administrator 権限が必要です。

MEMO

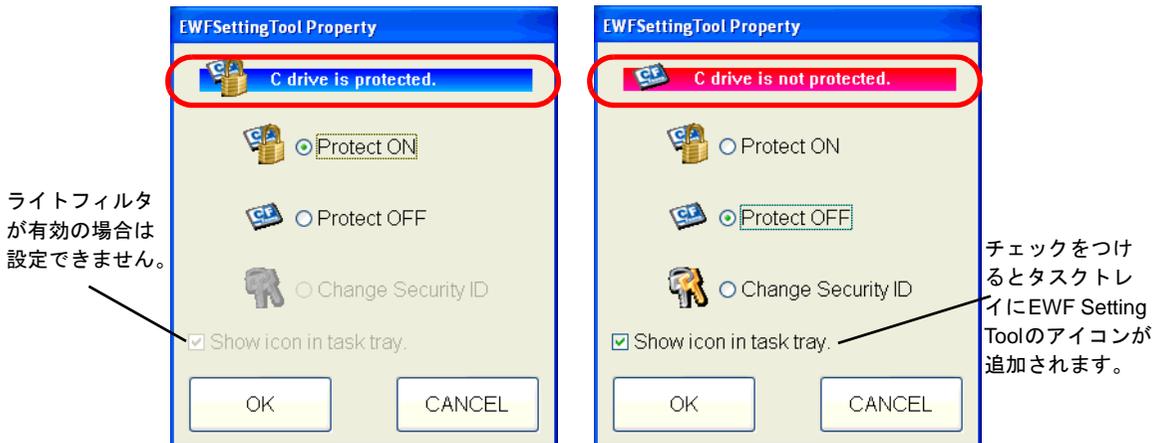
- セキュリティ ID の変更は、ライトフィルタが有効の場合は選択できません。
- セキュリティ ID については、以下を参照してください。

 [5 同じ設定環境を複数のパネルコンピュータにコピーしたい (CF カードをコピーしたい)](1-10 ページ)

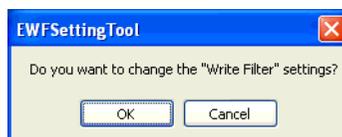
- (1) [スタート] [ファイル名を指定して実行]を開き次の場所の実行ファイルを起動します。

C:\¥Proface¥EWFSettingTool¥EWFSettingTool.exe

- (2) 表示画面上部でライトフィルタの現在の状態を確認してください。



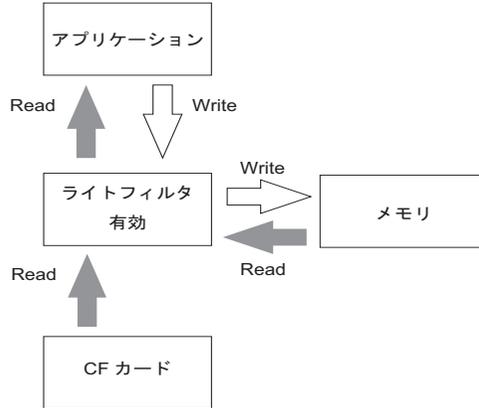
- (3) 設定を選択してください。
- (4) [OK] をクリックすると、設定変更を確認するダイアログボックス [Do you want to change the "Write Filter" settings?] が表示されますので、[OK] をクリックしてください。
設定の変更が反映されるのは、次回再起動後です。



4.2 ライトフィルタによる CF カードへのアクセス動作について

■ライトフィルタが有効の場合

- Read : CF カードに直接アクセス
- Write : メモリにアクセス



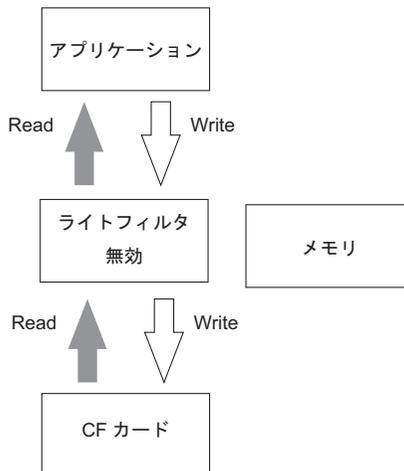
MEMO

- メモリ上に追加および変更されたデータがある場合には、メモリ上のデータが優先されます。
- ライトフィルタを有効に設定した状態で CF カードに書き込みを行うと、メモリリークが発生します。
メモリリークを解消するには以下を参照してください。

☞ [6 ライトフィルタによって発生するメモリリークを解消したい](1-12 ページ)

■ライトフィルタが無効の場合

- Read : CF カードに直接アクセス
- Write : CF カードに直接アクセス



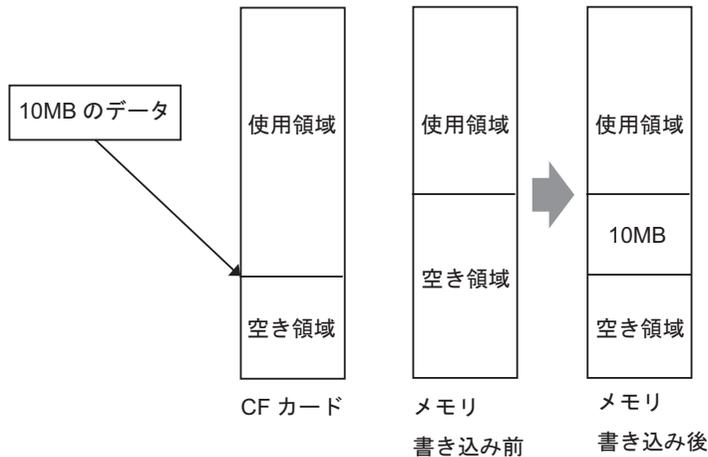
MEMO

- CF カードへの書き込み時に本体の電源を切るとデータの破損につながりますので、通常はライトフィルタを有効にしてください。

■ライトフィルタ使用時の注意事項

- ライトフィルタを有効にすることにより、CF カードへの書き込みはすべてメモリ上に行われます。メモリ上に書き込まれたデータを削除しても削除しきれない情報がわずかに残る場合がありますが、システムを再起動するとそれらも削除されます。
- CF カードに空き領域が存在しても、メモリ上に空き領域がない場合にデータを書き込むとメモリ不足エラーが発生します。また、メモリ上に空き領域が存在し、CF カードに空き領域がない場合はディスクの空き領域不足エラーが発生し、データが書き込みません。データを書き込む際は CF カードと、メモリの空き領域に十分ご注意ください。

例) ライトフィルタ有効状態にて、10MB のデータの書き込みを行った場合



<10MB のデータが書き込まれる条件 >

- CF カードの見かけの空き領域が 10MB 以上
- メモリの空き領域 10MB + OS が正常に動作するために必要なメモリ空き領域

<10MB のデータが書き込まれたあとの状態 >

- CF カードの見かけの空き領域が 10MB 減ります。
- メモリの空き領域が 10MB 減ります。

<10MB のデータを削除したあとの状態 >

- CF カードの見かけの空き領域が、10MB のデータを書き込む前に戻ります。
- メモリの空き領域は書き込まれた状態から変化しません。

- 多くのデータを書き込むと、空きメモリは減少します。そのため使用する上では、CF カードへの書き込み動作を極力控えていただく必要があります。

(株) デジタル製 XPE ではこの問題を解決するために、RAM Disk を実装しています。

RAM Disk は、指定したサイズを揮発性ディスク領域として使用でき、直接メモリ領域に書き込みを行うため、ライトフィルタの有無に関わらず、領域を何度でも使用できます。

RAM Disk の詳細および設定は、以下を参照してください。

 [6 ライトフィルタによって発生するメモリークを解消したい](1-12 ページ)

5 同じ設定環境を複数のパネルコンピュータにコピーしたい (CF カードをコピーしたい)

CF カードと同じ設定環境を複数のパネルコンピュータにコピーしたい場合は、以下の手順に従い CF カードのコピーをしてください。

MEMO

- 以下の手順を踏まずにコピーを行うと、コピー元の CF カードと同じセキュリティ ID の CF カードが作成されます。セキュリティ ID とは、各端末に割り振られる固有の ID です。セキュリティ ID が同じ場合、Microsoft ネットワーク上では同一端末とみなされます。

5.1 CF カードのコピー手順

- (1) ライトフィルタを無効にしてから実施してください。

ライトフィルタが有効の場合は設定できません。

 [4.1 ライトフィルタの設定手順](1-7 ページ)

- (2) 「EWFSettingTool.exe」を起動し、以下の画面にて「Change Security ID」を選択し「OK」をクリックしてください。

(起動ファイル先は、C:\Proface\EWFSettingTool\EWFSettingTool.exe)

重要

- 設定変更を行うには Administrator 権限が必要です。



- (3) 以下のダイアログボックスが表示されます。



- (4) 「OK」をクリックすると、自動的に再起動されます。
- (5) BIOS の画面が表示されます。BIOS 画面が表示されている間に [F2] キーを押してください。BIOS セットアップ画面が表示されたら本体の電源を切り、CF カードのコピーをしてください。
- (6) コピーした CF カードを使って本体を起動します。初回起動時にセキュリティ ID が変更されます。

重要

- 起動するまで時間がかかりますが、セキュリティ ID を変更中のため本体の電源は切らないでください。

- (7) セキュリティ ID が変更されると、自動的に再起動されます。

MEMO

- 起動後はライトフィルタが有効になりますので、再設定の必要はありません。
- セキュリティ ID が変更された場合、MACHINE_NAME が変更されイベントエラーが発生します。
イベントログエラー発生による影響はありません。

6 ライトフィルタによって発生するメモリリークを解消したい

ライトフィルタによって発生するメモリリークを解消したい場合は、RAM Disk を使用します。RAM Disk は直接メモリ領域に書き込みを行うため、ライトフィルタ設定の有無に関わらず指定したサイズを揮発性ディスク領域として何度でも使用できます。

ライトフィルタによって発生するメモリリークについては以下を参照してください。

 [4.2 ライトフィルタによる CF カードへのアクセス動作について](1-8 ページ)

Internet Explorer のキャッシュなどのデータ格納場所を RAM Disk にすることで、長時間メモリの空き領域を変化させずにシステムを動作させることができます。

また、ユーザーアプリケーションなどのロギングデータなども RAM Disk を有効に使えるデータのひとつとなります。

< 出荷時設定 >

ドライブレター：Z

サイズ：4MB

MEMO

- ドライブレターの設定は変更しないでください。
- RAM Disk にはライトフィルタの有無に関わらず書き込みが行えますが、電源を切ると書き込んだ内容は失われます。
- RAM Disk を使用することで、メモリリークが完全に解消されるわけではありません。

6.1 RAM Disk の設定手順

RAM Disk の領域を変更するには以下の手順で設定を行ってください。

MEMO

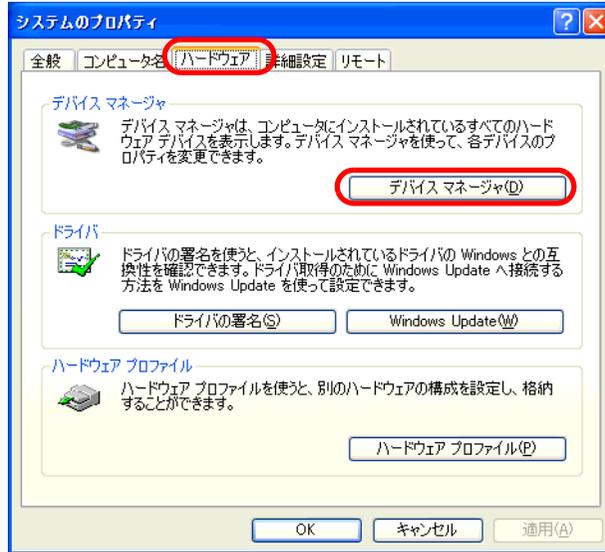
- 設定を行う前に、ライトフィルタを無効にしてください。ライトフィルタが有効の場合、変更した内容が反映されません。
設定の変更後、ライトフィルタを有効に戻すことをおすすめします。

 [4.1 ライトフィルタの設定手順](1-7 ページ)

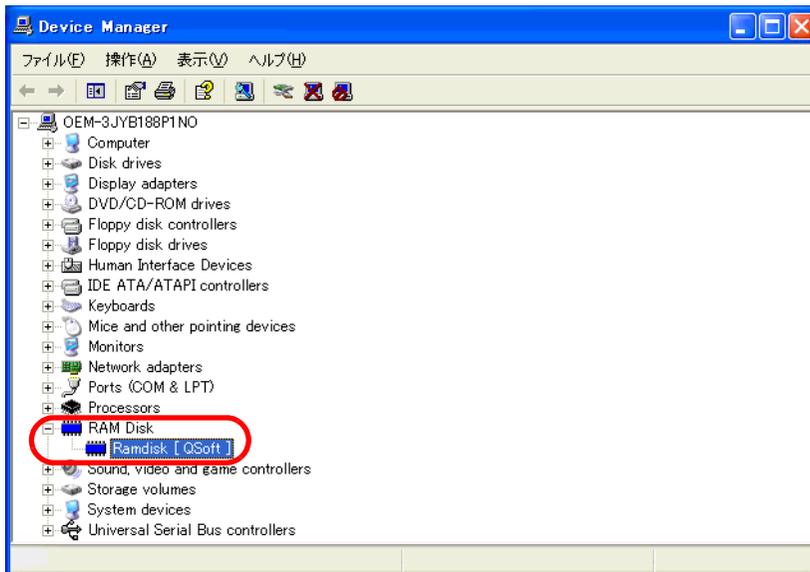
- (1) コントロールパネル内のシステムを実行します。



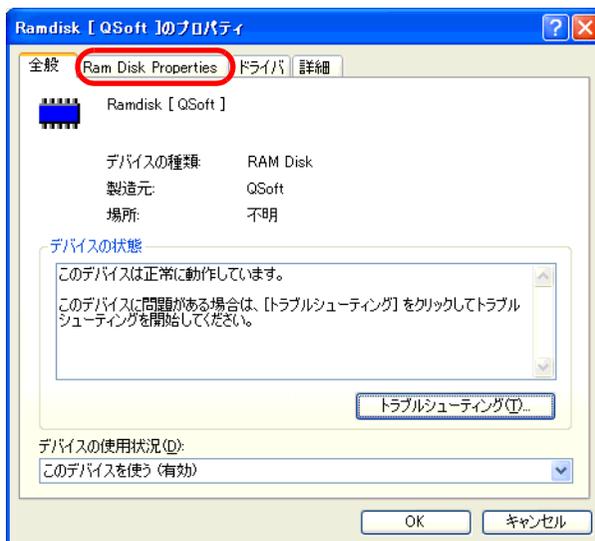
- (2) [ハードウェア] タブを選択し、[デバイスマネージャ (D)] を選択します。



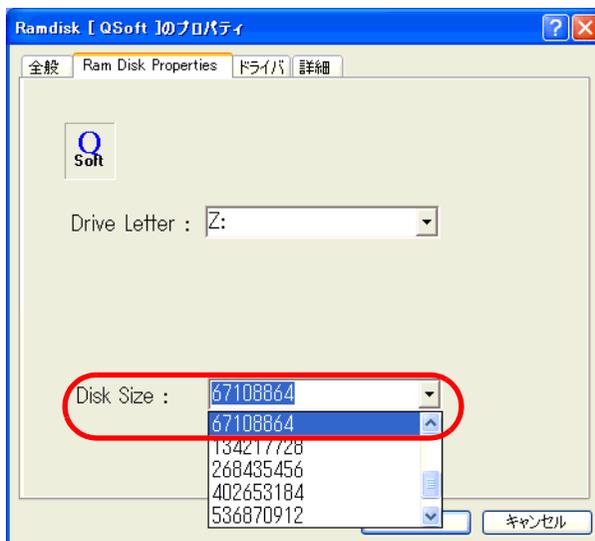
- (3) 下記のようなダイアログボックスが表示されるので、[RAM Disk] 左横の + マークをクリックし、[RAMdisk [QSoft]] をダブルクリックします。



- (4) 下記のようなダイアログボックスが表示されるので [Ram Disk Properties] タブを選択します。



- (5) [Disk Size] で RAM Disk 領域を設定します。

**重要**

- RAM Disk 領域の最大値は「67108864」です。それ以上の値を設定した場合、エラーが発生します。

MEMO

- ドライブレターの設定は変更しないでください。

- (6) 本体を再起動します。

7 画面にキーボードを表示させたい

IN-fINITY soft 製のソフトウェアキーボード (KeyClick32) を使用することができます。ご使用前に付録のライセンス契約書を必ずお読みいただきますようお願いいたします。

☞ [1 「IN-fINITY soft 製 KeyClick32」規約](A-2 ページ)

ご使用の際にフォントサイズの変更を行う場合は、以下の図を参照に設定変更を行ってください。

MEMO

- 日本語と英語の場合のみ対応しています。
上記以外の言語でタッチパネルからのキー入力を行う場合は Microsoft 社の Screen Keyboard をご使用ください。
- ログイン時のパスワード入力には使用できません。
- コマンドプロンプトには使用できません。

7.1 入力フォントサイズの変更手順

MEMO

- 設定を行う前に、ライトフィルタを無効にしてから実施してください。ライトフィルタが有効の場合、変更した内容が反映されません。
設定の変更後、ライトフィルタを有効に戻すことをおすすめします。

☞ [4.1 ライトフィルタの設定手順](1-7 ページ)

- (1) 日英版をご使用の場合は [スタート] [すべてのプログラム] [KeyClick_J] (日本語版) または [KeyClick_E] (英語版) を開き、[KeyClick] を起動します。(実行ファイルは、C:\¥Proface¥KeyClick_J¥KeyClick.exe または C:\¥Proface¥KeyClick_E¥KeyClick.exe)
マルチランゲージ版をご使用の場合は [スタート] [すべてのプログラム] [KeyClick] (を開き、[KeyClick] を起動します。(実行ファイルは、C:\¥Proface¥KeyClick¥KeyClick.exe)
- (2) フォントサイズの変更を行う場合は、次の図を参考に設定変更を実施してください。

重要

- KeyClick の設定変更を行うには Power User 以上の権限が必要です。

(1) ここをクリックしてフォントサイズ変更ダイアログを表示してください。

(2) PW をクリックして KeyClick を終了してください。
フォントサイズの変更は KeyClick を次回起動したときから有効になります。



フォントサイズ変更画面



8 画面にタッチして操作したい

マウスエミュレーションを実現するタッチパネルドライバ（株式会社ディー・エム・シー社製）が設定できます。ご使用前に付録のライセンス契約書を必ずお読みいただきますようお願いいたします。

 [2 Mouse Emulation Software ソフトウェア使用権許諾契約書](A-3 ページ)

■タッチ位置の補正手順

- (1) [スタート] [すべてのプログラム] [UPDD] を開き、[キャリブレーション] を起動します。（実行ファイルは、C:\Program Files\UPDD\TBCALIB.exe）
- (2) 画面に矢印が表示されるのでタッチしてください。「キャリブレーション後の確認」ダイアログボックスで「OK」を押すと補正が完了します。

9 画面の輝度を調整したい

Backlight Brightness を使用して設定します。4 段階に調整できます。

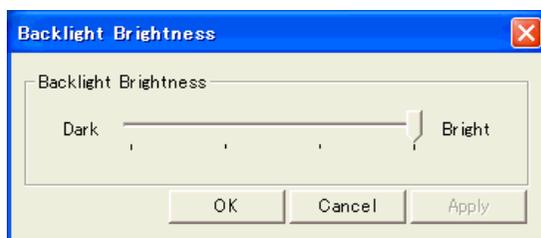
■設定手順

MEMO

- 設定を行う前に、ライトフィルタを無効にしてから実施してください。ライトフィルタが有効の場合、変更した内容が反映されません。
設定の変更後、ライトフィルタを有効に戻すことをおすすめします。

 [4.1 ライトフィルタの設定手順](1-7 ページ)

- (1) コントロールパネルで [Backlight Brightness] アイコンをダブルクリックします。



- (2) 輝度を選択します (4 段階)。
- (3) [OK] を選択して終了してください。

10 本体の電源を切るときの注意事項

出荷時はライトフィルタが無効になっています。

ライトフィルタで保護されていないデバイス (CF カード以外) へ書き込みを行っている場合に電源を切るとデータ破損の原因になります。

■ ライトフィルタが有効の場合

シャットダウンを行う必要がありません。他のデバイスへ書き込みを行っていないことを確認し、ハードウェアの安全な取り外しを行ってから電源を切ってください。ただし、その間に行われた OS の設定変更、CF カードへの書き込みデータは本体の電源を切るとともに破棄されます。

<他のデバイスへ書き込みを行っていないかの確認方法>

ハードディスク：本体 DISK LED が消灯しているか

USB 機器 /PCMCIA：ユーザーアプリケーションなどで書き込みを行っていないか

■ ライトフィルタが無効の場合

シャットダウンを行う必要があります。書き込み禁止設定がされていないため、OS の設定変更、CF カードへの書き込みデータが更新されます。

11 CF カードのバックアップ / リカバリについて

バックアップ / リカバリツールは、(株) デジタルサポート専用サイトおたすけ Pro! でのみ公開しています。

(URL <http://www.proface.co.jp/otasuke/>)

バックアップ / リカバリツールのダウンロードおよび使い方については、上記ウェブサイトのダウンロードのページから、「XP Embedded CF カード バックアップ / リカバリツール」をご覧ください。

バックアップ / リカバリツールは以下の仕様を満たす場合のみ使用できます。

- 同じサイズの(株) デジタル製 CF カードに対してのリカバリができます。
- (株) デジタル製 XPE CF カードのみバックアップできます。

重要

- 必要なアプリケーション等のインストールが完了したら、まず CF カードのバックアップを取得してください。バックアップデータがなければリカバリが行えません。
- バックアップを行うには、(株) デジタルサポート専用サイトおたすけ Pro! から、「XP Embedded CF カード バックアップ リカバリツール」の「使用方法」に記載の「バックアップ手順」を参照してください。

12 制限事項

- ヘルプドキュメントは実装していません。
- 本体起動時のメモリ使用量は日英版・日本語版が約 160MB、マルチランゲージ版が約 130MB です。
- 搭載メモリが 128MB の場合、XPE は動作しません。256MB 以上のメモリでご使用ください。
- 仮想メモリ機能は使用できません。動作させるアプリケーションのメモリ使用量によっては OS が停止する場合があります。
- Internet Explorer のキャッシュやインターネット インフォメーション サービスの機能は、出荷時に以下のように設定しています。
 - キャッシュファイル：最小値
 - インターネット インフォメーション サービス：無効
 - キャッシュファイルは RAM Disk に残されるので、本体の電源を切った時に削除されます。

MEMO

- Windows Update 機能は Windows を自動的に更新し、システムを最新の状態にしてくれるオンラインサポートですが、XPE については Microsoft の Windows Update サービスに対応していません。Windows Update をインターネット上で実行した場合、一部のアップデートモジュールがインストールに失敗します。絶対にインターネット上からインストールを実行しないでください。

2 | **トラブルシューティング**

1	トラブルの内容と対処方法.....	2-2
---	-------------------	-----

1 トラブルの内容と対処方法

MEMO

- 最新版のマニュアルや Driver、Utility は (株) デジタルのホームページからダウンロードできます。
またよくあるご質問や役立つ情報も Q&A 集として (株) デジタルのホームページに用意しています。
ご使用用途にあわせて参照してください。
<http://www.proface.co.jp/otasuke/>

困ったこと	トラブルを解決するにはこちらへ
インストールしたソフトが再起動しても反映されない	ライトフィルタ (CF カードへの書き込みをなくす機能) が有効になっていませんか？
設定を行っても再起動すると元に戻っている	☞ [4.1 ライトフィルタの設定手順] (1-7 ページ)
ライトフィルタの設定を変更したい	☞ [4.1 ライトフィルタの設定手順] (1-7 ページ)
EWFSettingTool (ライトフィルタの設定画面) が正しく動作しない	BIOS の設定で CF カードがプライマリマスタ (Disk0) に設定されているか確認してください。 ☞ ご使用のパネルコンピュータのマニュアルのシステム設定の章をご覧ください。
ネットワークに接続したが ping が通らない	ファイアウォールの設定が有効になっていませんか？ 以下の手順で設定を変更してください。 (1) [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] を開きます。 (2) [ネットワークとインターネット接続] をダブルクリックして開き、続いて [ネットワーク接続] を開きます。 (3) [ローカルエリア接続] をダブルクリックして [ローカルエリア接続のプロパティ] を表示させます。 (4) [詳細設定] タブを選択し、[Windows ファイアウォール] の [設定] を開きます。 (5) [詳細設定] タブをクリックし、[ICMP] の [設定] を開きます。 (6) [エコー要求の着信を許可する] にチェックを入れます。
リカバリしたい	(株) デジタルサポート専用サイトおたすけ Pro! からリカバリツールをダウンロードしてリカバリを行ってください。リカバリを行うには、事前にリカバリツールを使用し、CF カードのバックアップデータを保持しておく必要があります。 ☞ [11 CF カードのバックアップ / リカバリについて] (1-20 ページ)
CF カードのバックアップを取りたい	☞ [11 CF カードのバックアップ / リカバリについて] (1-20 ページ)
タッチ位置がずれている	タッチ位置の補正を行いましたか？ ☞ [8 画面にタッチして操作したい ■ タッチ位置の補正手順] (1-17 ページ)

困ったこと	トラブルを解決するにはこちらへ
Internet Explorer を使って Web サーバへアクセスした際にユーザー名とパスワードが記憶できない	セキュリティ ID を変更をしたアカウントでは、Web サーバのログインダイアログボックスにある [パスワードを記憶する] が機能しなくなります。 以下の場合には新規のアカウントを作成し、再度ログインしてください。 <ul style="list-style-type: none">・ セキュリティ ID の設定がデフォルト（本体購入時のまま）である場合・ ユーザーアカウント作成後にセキュリティ ID を変更した場合
XPE にソフトウェアをインストールする際、[ファイルが必要] ダイアログボックスが表示される	[ファイルが必要] ダイアログボックスで求められるファイルのパスを [コピー元 (C) :] に指定します。 DLL ファイル (***.DLL) の場合 : C:\WINDOWS\System32 SYS ファイル (***.SYS) の場合 : C:\WINDOWS\System32\drivers 上記のパスにファイルが存在しない場合は、弊社サポートダイヤルにお問い合わせください。

付録



1	「IN-fINITY soft 製 KeyClick32」規約	A-2
2	Mouse Emulation Software ソフトウェア使用権許諾契約書	A-3

1 「IN-fINITY soft 製 KeyClick32」規約

「IN-fINITY soft 製 KeyClick32」規約

著作権は、IN-fINITY soft が所有しています。本プログラムの使用ならびに使用不能におけるいかなる損害に関して一切責任を負わないものとします。また、本プログラムに不具合が発見されても作者は不具合を修正する義務を負わないものとします。

2 Mouse Emulation Software ソフトウェア使用権許諾契約書

「Mouse Emulation Software(TSC-1310D/DD)」ソフトウェア使用権許諾契約書

本製品を開封又は御使用前に、以下のライセンス契約を必ずお読みください。

本使用許諾契約書は、下記に示されたソフトウェア製品（以下「本ソフトウェア製品」）に関してお客様と株式会社ディ・エム・シー（以下「DMC」）との間に締結される契約書です。本ソフトウェア製品を開封、インストール、複製又は使用することによってお客様は本契約に同意し、契約が成立したものとします。事前に本契約を十分に御確認、御理解をお願いいたします。本契約に同意されない場合、DMC はお客様に本ソフトウェア製品の開封、インストール、複製、又は使用のいずれも許諾できません。そのような場合、未使用の本ソフトウェア製品を直ちに購入先へ御返却ください。お支払済みの代金が御返却されます。

1. 著作権

本ソフトウェア製品の著作権は Touch-Base Ltd. に帰属します。

2. 使用権

DMC は、本ソフトウェア製品に含まれるプログラム及びこれに関する資料を、以下の条件で使用できる譲渡不能の非独占的使用権をお客様に許諾します。

お客様は、本ソフトウェア製品を、ライセンス許諾される本ソフトウェア製品及びそのコピーを複数のコンピュータによる本ソフトウェア製品の使用を許可するライセンスを購入していない場合は、特定の1台のコンピュータ上でのみ本ソフトウェア製品を使用する権利を与えられます。

お客様は、使用を許可されているコンピュータ1台につき1部を、バックアップの為にのみ本ソフトウェア製品のコピーを作成することができます。上記以外の目的の為に本ソフトウェア製品の一部又は全てをメディアを問わずコピーすることはできません。

お客様は、本ソフトウェア製品のコピー全てに対し、本ソフトウェア製品と同様の著作権表示等を明記しなければなりません。

本ソフトウェア製品及びそのコピーの無体財産権は DMC 及び DMC への供給者に帰属します。

3. 使用期間

本契約は、契約成立時から、DMC 又はお客様が本契約に従い解約するまで続きます。

4. 使用権の消滅

お客様は、本ソフトウェア製品及びそのコピーの内容物全てを抹消、又は破壊することにより、いつでも本ソフトウェア製品の使用権を消滅させることができます。

DMC は、お客様が本許諾内容に違反した場合、通知によりお客様の本ソフトウェア製品の使用権を消滅させることができます。この場合、お客様は本ソフトウェア製品及びそのコピーの内容物全てを1ヶ月以内に DMC に返却するものとします。

5. 保証

DMC は、本ソフトウェア製品購入後、90 日間本ソフトウェア製品が記録、格納されている媒体自体又は当該媒体に於ける本ソフトウェア製品の記録状態に材質上又は製作上の瑕疵が無い事を保証します。万一、本保証期間中に本ソフトウェア製品が記録、格納されている媒体自体又は当該媒体に於ける本ソフトウェア製品の記録状態に材質又は製作上の瑕疵が認められた場合、本ソフトウェア製品が記録、格納されている媒体を交換いたします。但し、お客様から当該瑕疵につき本保証期間内に通知していただくことを条件とします。

DMC は、前項の本ソフトウェア製品が記録、格納されている媒体の交換を除いては、本ソフトウェア製品に対していかなる明示、又は暗黙の保証を与えることは無く、お客様に供給されたときの状態にて使用許諾します。又、本ソフトウェア製品がお客様の特定の使用目的のために適切又は有用であること、本ソフトウェアの実行が中断されないこと及びその実行に誤りが無いことを保証する物ではありません。

本状に基づく DMC の責任は本ソフトウェア製品が記録、格納されている媒体の交換に限定されるものとし、DMC はその他の法律上の瑕疵担保責任を含む全ての明示又は黙示の保証責任及び本ソフトウェア製品に起因するお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害、データなどに対する損害及び無体財産権に関し第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく賠償責任などの一切の責任を負いません。

6. お客様の義務

お客様は、本ソフトウェア製品が著作権法等によって保護される無体財産権を含む機密情報又は財産的情報を有することを認識するとともに、以下の行為をしないものとします。

本許諾条項以外により本ソフトウェア製品を使用、コピー、又は解析、改変する行為。

本ソフトウェア製品を第三者への譲渡、賃貸、再許諾する行為。

本ソフトウェア製品に直接記録、又は本ソフトウェア製品が記録、格納されている媒体に表示されている著作権を含む無体財産権の権利表示を削除、又は変更する行為。

7. 輸出規制

本ソフトウェア製品が外国為替及び外国貿易管理法及びこれに付随する法令の規制対象品となる場合、お客様は当該法令及び規則を遵守するものとします。

株式会社ディ・エム・シー

<http://www.dmccoltd.com>

本社 〒 979-0401 福島県双葉郡広野町広野工業団地

TEL: 0240-27-4030 FAX: 0240-27-4025